

# 浩然

「ふるさとを愛し 自他を大切に  
志高く未来を切り拓く生徒の育成」

香美町立村岡中学校通信

No. 11 2019. 12. 24 (Tue.)

## 不滅の法灯

今、本校では「無言清掃」と言って、15分間の清掃時間内はっさい私語をせず、黙々と清掃に取り組む活動が伝統になっています。生徒が一生懸命に便器を磨いている姿や、ひざをつけて床を拭いている姿に研究会などで来校された他校の先生方が口々に、「感動しました」とたくさん言ってくれます。やはり、一生懸命な姿や自ら進んで物事に取り組んでいる姿は、人の心を動かすのだと感じ、ふと、「比叡山延暦寺の不滅の法灯」の話を思い出しました。(今日の式辞で話しました。)

\*

\*

比叡山延暦寺には、1200年もの間、途絶えたことのない伝説の灯りがあります。「不滅の法灯」「常灯」と呼ばれるこの灯りは、天台宗を開いた伝教大師・最澄が、修行で使った灯りが今も燃え続けているのですが、これは、毎日、昼夜を問わず「菜種油」を注ぎ足し続けた僧侶たちにより守り続けられてきたわけです。もし見廻りを怠り、一瞬でも油を断ってしまえば、いままで灯り続けた炎が消えてしまいます。このことから、注意や集中が途切れること、不注意になること、隙を見せることから「油断」あるいは「油断大敵」という言葉が生まれた、とされています。

ではなぜ、1200年もの間、この火が消えなかったのでしょうか。きっと当番や係を決めてやってきたのだらうと思ったのではないですか。しかし、実は延暦寺のこの灯りは決められた人が役務によって「油」を注いでいるわけではありません。その灯りを気にとめる人々がその都度に油を注ぎ、芯を替えたりすることによって灯され続けているのです。

それは、係や当番を決めた瞬間から、誰かの仕事だという甘えや隙ができ、他人事になってしまい、

そこに失敗が生まれるという考え方からこのようにしているということ。このお話は、みんなが大切だと思うことについては、常に自分のことであるにとらえ、誰かがやってくれると思わずに、「気づいた人が自分から進んで行くことが大切」であるということをお話しています。

私たち大人も生徒の皆さんも、日々の生活の中で、こうしたらよと思ったことや気づいたことに対しては、誰かがしてくれるらうと思わず、まず自分から進んで行動できる人になりたいものですね。



(12/23 校内球技大会)

ちなみに、この灯りは今では全国数カ所に分灯(つまりスベア)されていますが、一番最初は山形県の通称・山寺「立石寺」でした。(松尾芭蕉が「閑(しず)かさや岩に沁み入る蟬の声」と詠んだ場所です。)長い歴史の中で比叡山は一度だけ焼けました。1571年の織田信長による比叡山焼き討ちです。しかし、それ以前に立石寺に灯りが分灯されていたので、江戸時代になって比叡山の再興に伴い、法灯の明かりも無事に戻されたということです。

\*

\*

今日はいよいよ終業式。心は冬休み、正月に向かっていくことですが、特に3年生は、受験に向けてがんばってください。この一年、保護者の皆さまにもご支援いただき、たいへんお世話になりました。よい年をお迎えください。ありがとうございました。来年もよろしくお祈りします。

## 中村祐希さん 全日本アルペン競技タレント発掘育成合宿に選抜される!

昨シーズン、全国中学校スキー競技大会SLで第5位入賞の快挙を遂げた、3年生の中村祐希さんが全日本スキー連盟の「アルペン競技タレント発掘育成事業合宿」に選抜されました。全国男女12人



に入り、冬休みの長野での合宿に参加します。北海道・長野・新潟の選手ばかりの中で唯一兵庫県で選出されました。スタッフがすごいです。オリンピック4大会代表、トリノ五輪4位、ワールドカップ3位の皆川賢太郎氏(奥様は上村愛子元選手)や佐々木明氏(オリンピック代表、ワールドカップ第2位)が直接指導するなど、貴重な機会を自身の力で勝ち取りました。県・全中に向けてがんばってください!

(帰ってきたら補充学習にもしっかり取り組んでもらいます。)

## おめでとう!活躍の数々

☆兵庫県交通安全ポスター展  
金賞 西谷 悠希(1年)

☆兵庫県学校歯科保健表彰審査  
優秀賞 香美町立村岡中学校

☆小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」コンクール  
【詩の部】 佳作 「人と大地」 井上 玲奈(3年) 「私の道」 藤岡 舞(3年)

## YCE学生と国際交流会

12月17日にライオンズクラブ国際協会が支援する留学制度(Youth Camp Exchangeコースキャンプ及び交換プログラム)により来日した学生たちと1・2年生が交流授業をもちました。

今年で4年目になります。1年生は2つの教室に分かれて「和」という字を習字

で、2年生は多目的室で英語の授業を一緒に受けました。15歳から20歳までの学生16人と関係者10数人を含め、狭い教室はすし詰め状態でしたが、すぐに仲良くなり、横に座る学生に筆の持ち方や書き方を教えたり、英語で自己紹介や質問、クイズで楽しんだりとても楽しい時間を過ごしました。最後は一緒に写真を撮るなど意気投合、友好ムードに包まれ、たくさんの笑顔がはじけていました。



## 失敗を恐れずに挑戦することの大切さ

マイケル・ジョーダンという人の名前を聞いたことがあると思います。ジョーダン氏は、NBA(アメリカプロバスケットリーグ)のシカゴ・ブルズ等でプレーした元プロバスケットボール選手です。15年間の選手生活で残した偉業は数知れず、その実績から『バスケットボールの神様』と呼ばれていました。そんなジョーダン氏が残した名言を紹介します。



**高校時代は代表チームの選考から漏れた。9000回以上シュートを外し、300試合に敗れた。チームからウイニングショットを任されて、26回も外した。人生で何度も何度も失敗してきた。だから私は成功したのだ!**

失敗や挫折が人を成長させるのだ、と強く思います。但馬が生んだ偉大な冒険家・植村直巳も言っています。最後は「努力と挑戦」です。(文責:才田 覚)

